

タイトル「2021年度スポーツ科学部(公開用_コロナ対策版)」、フォルダ「(共通)」
 シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	RMGT/SSCS1101		
科目名	哲学 1		
担当教員	上野山 晃弘		
対象学年	1年,2年,3年,4年	開講学期	後期
曜日・時限	火 4		
講義室	オンライン	単位区分	選
授業形態	講義	単位数	2
科目大分類	総合教育		
科目中分類	総合基礎		
科目小分類	文化教養		
科目の位置付け (開発能力)	<p>■ D Pコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連</p> <p>D P 1 - D (市民的素養・市民的教養) 市民的素養と参加コミュニティに積極的な変化をもたらすために、知識・スキル・価値観・動機を動員することができる。</p> <p>D P 2 - A (日本の精神文化を理解し多様な価値を受容する姿勢) 地球的視点で物事を多面的に捉え、異文化との交流の重要性を認識するとともに、異文化との交流を積極的かつ多面的に行い、相互理解を促進し互恵関係を構築することができる。</p> <p>D P 2 - B (自己の特性を理解し社会に貢献しようとする姿勢) 自己の存在意義を知り、自らを高め続けようとする努力することができる。</p> <p>D P 3 - H (論理的思考力・批判的思考力) 理路整然とした思考を備えつつ、偏りを排除するための内省をもって、問題・課題を合理的に解決することができる。</p> <p>D P 4 - I (理解力・分析力) 文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。</p> <p>■ C Rコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンプリック (C R) との関連</p> <p>A1 グローバル感覚 (15%)</p> <p>B1 自己啓発 (15%)</p> <p>D1 市民的素養と参加 (30%)</p> <p>H2 批判的思考 (20%)</p> <p>I1 理解・分析と読解 (20%)</p>		
教員の実務経験	特にありません。		
成績ターゲット区分	■ 成績ターゲット 能力開発の目標ステージとの対応 2 進期～3 発展期		
科目概要・キーワード	<p>豊かな将来社会を創造するためには、複雑化する現代社会の諸問題の本質を明瞭に把握するための哲学的思考力が不可欠です。本講義では代表的な哲学理論を通じて哲学的思考法の基礎知識の修得をめざします。そのことにより、現代社会で生じている諸問題の本質を哲学的な観点から考察するための能力を修得することが目的です。</p> <p>授業形態は講義形式により行います。なお、授業を補完・代替するためオンライン授業 (オンデマンド型) を取り入れます。(キーワード) 哲学的思考法・現代社会と哲学・自主創造</p>		
授業の趣旨	<p>■ 副題</p> <p>歴史上、哲学者たちは時代の危機を克服するために、従来とは異なる新たな思考法や価値観を自ら創造してきました。この授業では、多様な哲学理論を学び、その理論的・実践的意義を探究します。</p> <p>■ 授業の目的</p> <p>日本大学の自主創造の理念にもとづいて、哲学的思考法に関する基礎知識を修得し、現代社会の諸問題を哲学的な観点から自ら考察できるようになることを目的とします。</p> <p>■ 授業のポイント</p> <p>講義・グループワーク・リアクションペーパーへの取り組みを通して、哲学的な基礎知識と思考法の修得をめざします。</p>		
総合到達目標	<p>■ 「市民的教養」、「多様な価値を受容する姿勢」、「社会に貢献しようとする姿勢」、「論理的・批判的思考力」、「理解力・分析力」を総合的に修得するために、多様な哲学的思考法に関する知識を理解した上で、現代社会の諸問題に対する関心を深め、問題解決に向けて哲学的な観点から独自の考えを形成できるようになる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 哲学の基礎知識を修得し、その意味を深く考察できる (第1回～第15回)。 ・ 哲学者自身のことば (テキスト) を読解し、解釈できる (第2回～第12回)。 ・ 他の学生と意見交換 (対話) を行うことができる (第2回～第12回、第15回)。 ・ 自らの考えを文章として論理的に表現できる (第2回～第15回)。 ・ 現代社会の諸問題に深い関心を持ち、それを哲学的に考察できる (第2回～第15回)。 		
成績評価方法	<p>■ リアクションペーパー15回 (45%) ; 適用ルーブリック A1・B1・D1・H2・I1 (評価の観点) 授業内容の理解力、考察力、論理的な文章力をはかります。 (フィードバック方法) 授業時間中に講評・解説を行います。</p> <p>■ レポート1回 (55%) ; 適用ルーブリック A1・B1・D1・H2・I1 (評価の観点) 授業内容の理解力、考察力、論理的な文章力をはかります。 (フィードバック方法) 授業時間中に出题意図の説明を行います。</p>		
履修条件	特にありません。		

履修上の注意点	「哲学」に関心と学修意欲があること（毎回の授業に参加し、リアクションペーパーに取り組む意志があること）を求めます。なお、初回にシラバスの詳細を説明しますので必ず出席してください。	
授業内容	回	内容
	1	①授業テーマ 哲学的思考法を学ぶ意義 ②授業概要 シラバスの詳細について理解した上で（I1）、哲学的思考法を学ぶことの意義について考察できるようになる（D1）。 ③予習（120分） シラバスを熟読し、現代社会の諸問題（危機管理学部・スポーツ科学部の諸課題に関連する問題）について図書館等を活用して調べる。 ④復習（120分） 授業内容をふりかえり、現代社会において哲学的思考法を学ぶ意義についてさらに考察を深める。
	2	①授業テーマ 哲学的思考法（1）ソクラテス・プラトン ②授業概要 ソクラテス・プラトンの哲学的思考法に関する基礎知識を修得した上で（I1）、その現代的意義について深く考察できるようになる（A1・B1・D1・H2）。 ③予習（120分） ソクラテス・プラトンに関する基礎知識について図書館等を活用して調べる。 ④復習（120分） 授業内容について理解を深め、ソクラテス・プラトンの哲学的思考法の現代的意義についてさらに考察する。
	3	①授業テーマ 哲学的思考法（2）アリストテレス ②授業概要 アリストテレスの哲学的思考法に関する基礎知識を修得した上で（I1）、その現代的意義について深く考察できるようになる（A1・B1・D1・H2）。 ③予習（120分） アリストテレスに関する基礎知識について図書館等を活用して調べる。 ④復習（120分） 授業内容について理解を深め、アリストテレスの哲学的思考法の現代的意義についてさらに考察する。
	4	①授業テーマ 哲学的思考法（3）ソクラテス・プラトン・アリストテレスとの対話 ②授業概要 ソクラテス・プラトン・アリストテレスの哲学について理解を深め（I1）、他の学生と意見交換（対話）した上で、自らの考えをさらに発展させることができるようになる（A1・B1・D1・H2）。 ③予習（120分） ソクラテス・プラトン・アリストテレスの哲学理論の意義について、さらに具体的な問題と関連づけて考察する。 ④復習（120分） 授業内容について理解を深め、ソクラテス・プラトン・アリストテレスの哲学的思考法の理論的・実践的可能性についてさらに考察する。
	5	①授業テーマ 哲学的思考法（4）デカルト ②授業概要 デカルトの哲学的思考法に関する基礎知識を修得した上で（I1）、その現代的意義について深く考察できるようになる（A1・B1・D1・H2）。 ③予習（120分） デカルトに関する基礎知識について図書館等を活用して調べる。 ④復習（120分） 授業内容について理解を深め、デカルトの哲学的思考法の現代的意義についてさらに考察する。
	6	①授業テーマ 哲学的思考法（5）カント ②授業概要 カントの哲学的思考法に関する基礎知識を修得した上で（I1）、その現代的意義について深く考察できるようになる（A1・B1・D1・H2）。 ③予習（120分） カントに関する基礎知識について図書館等を活用して調べる。 ④復習（120分） 授業内容について理解を深め、カントの哲学的思考法の現代的意義についてさらに考察する。
	7	①授業テーマ 哲学的思考法（6）デカルト・カントとの対話 ②授業概要 デカルト・カントの哲学について理解を深め（I1）、他の学生と意見交換（対話）した上で、自らの考えをさらに発展させることができるようになる（A1・B1・D1・H2）。 ③予習（120分） デカルト・カントの哲学理論の意義について、さらに具体的な問題と関連づけて考察する。 ④復習（120分） 授業内容について理解を深め、デカルト・カントの哲学的思考法の理論的・実践的可能性についてさらに考察する。
	8	①授業テーマ 哲学的思考法（7）ヘーゲル ②授業概要 ヘーゲルの哲学的思考法に関する基礎知識を修得した上で（I1）、その現代的意義について深く考察できるようになる（A1・B1・D1・H2）。 ③予習（120分） ヘーゲルに関する基礎知識について図書館等を活用して調べる。

	④復習 (120分) 授業内容について理解を深め、ヘーゲルの哲学的思考法の現代的意義についてさらに考察する。
9	①授業テーマ 哲学的思考法 (8) ショーペンハウアー ②授業概要 ショーペンハウアーの哲学的思考法に関する基礎知識を修得した上で (I1)、その現代的意義について深く考察できるようになる (A1・B1・D1・H2)。 ③予習 (120分) ショーペンハウアーに関する基礎知識について図書館等を活用して調べる。 ④復習 (120分) 授業内容について理解を深め、ショーペンハウアーの哲学的思考法の現代的意義についてさらに考察する。
10	①授業テーマ 哲学的思考法 (9) ニーチェ ②授業概要 ニーチェの哲学的思考法に関する基礎知識を修得した上で (I1)、その現代的意義について深く考察できるようになる (A1・B1・D1・H2)。 ③予習 (120分) ニーチェに関する基礎知識について図書館等を活用して調べる。 ④復習 (120分) 授業内容について理解を深め、ニーチェの哲学的思考法の現代的意義についてさらに考察する。
11	①授業テーマ 哲学的思考法 (10) ハイデガー ②授業概要 ハイデガーの哲学的思考法に関する基礎知識を修得した上で (I1)、その現代的意義について深く考察できるようになる (A1・B1・D1・H2)。 ③予習 (120分) ハイデガーに関する基礎知識について図書館等を活用して調べる。 ④復習 (120分) 授業内容について理解を深め、ハイデガーの哲学的思考法の現代的意義についてさらに考察する。
12	①授業テーマ 哲学的思考法 (11) ヘーゲル・ショーペンハウアー・ニーチェ・ハイデガーとの対話 ②授業概要 ヘーゲル・ショーペンハウアー・ニーチェ・ハイデガーの哲学について理解を深め (I1)、他の学生と意見交換 (対話) した上で、自らの考えをさらに発展させることができるようになる (A1・B1・D1・H2)。 ③予習 (120分) ヘーゲル・ショーペンハウアー・ニーチェ・ハイデガーの哲学理論の意義について、さらに具体的な問題と関連づけて考察する。 ④復習 (120分) 授業内容について理解を深め、ヘーゲル・ショーペンハウアー・ニーチェ・ハイデガーの哲学的思考法の理論的・実践的可能性についてさらに考察する。
13	①授業テーマ 哲学と現代社会の諸問題 (1) 小括 ②授業概要 哲学理論に関する理解を深め (I1)、その意義を現代社会の諸問題との関連の中でさらに具体的に考察できるようになる (A1・B1・D1・H2)。 ③予習 (120分) 授業内容の全体をふりかえり、自分の考察を深める。 ④復習 (120分) この授業での学びをふりかえり、自分の考えをさらに深める。
14	①授業テーマ 哲学と現代社会の諸問題 (2) 小括と理解度の確認 ②授業概要 今学期の学びをふりかえり、哲学理論の要点とその現代的意義に関して、自分の考えを論理的に表現できるようになる (A1・B1・D1・H2・I1)。授業中にまとめの授業とレポートを実施します (授業時間中に出题意図の説明を行います)。 ③予習 (120分) 授業内容の全体をふりかえり、自分の考察を深める。 ④復習 (120分) 自分の考察結果についてふりかえり、哲学的思考法の現代的意義についてさらに自らの考えを深める。
15	①授業テーマ 総括 ②授業概要 今学期の学びをふりかえり、他の学生と意見交換 (対話) した上で、自らの考えをさらに発展させることができるようになる (A1・D1・I1)。 ③予習 (120分) 授業内容をふりかえり、自分の考察を深める。 ④復習 (120分) 自分の考察結果についてふりかえり、哲学的な知識とその現代的意義についてさらに自らの考えを深める。
関連科目	哲学2 (RMGT/SSCS1102)
教科書	授業時間内に資料を配付します。
参考書・参考URL	小寺聡 (編) 『もういちど読む山川倫理』 (山川出版社、2011年) 小寺聡 (編) 『もういちど読む山川哲学 ことばと用語』 (山川出版社、2015年) その他については授業時間内に指示します。
連絡先・オフィスアワー	■連絡先 開講時に告知します。 ■オフィスアワー 金曜3限 メール等で事前にアポイントを取って下さい。場所はラーニングセンター (1号館2階) またはオ

ンラインにて対応します。

研究比率



Copyright (c) 2016 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.